

第6章 環境・自然 第5節 健全な水資源の保全《河川・水路》

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績 (H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	平成30年度の計画において、所沢市で実施する現況測量及び道路概略設計については、年度内に完了することができたが、埼玉県が実施する詳細設計業務について、年度内に業務を完了することができなくなったため、3業務のうち2業務を達成し、66.7%達成したとみなす。	H30年度に改善した点		有	有	
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	—	—	①路線測量	埼玉県、清瀬市と共同で行う橋梁築造及び周辺道路整備に係る工事計画に対する達成率	橋りょうの築造にあたり、各年度で計画した業務がどれくらい達成できたかで評価する。				H30年度に改善した点				
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②道路概略設計	特になし										
	道路法、河川法、土地収用法	23,473千円	13,068千円	③詳細設計(埼玉県実施)	H30目標値が未達成の理由・分析										
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	本市を流域を持つ柳瀬川については、埼玉県が河川整備を進めている。しかし、東川との合流点前後区間は、所沢市と清瀬市が管理者である清柳橋が障害となり、これまで進めてきた柳瀬川と東川の河川整備の効果が十分に発揮できない状況である。このため、今後の浸水被害の軽減を図るために、道路管理者である所沢市と清瀬市及び河川管理者である埼玉県とともに当該橋りょうの改築に取り組むものである。	0.00人	0.00人	①平成31年3月27日完了	—	—	平成30年度の計画において、所沢市で実施する現況測量及び道路概略設計については、年度内に完了することができたが、埼玉県が実施する詳細設計業務について、年度内に業務を完了することができなくなったため。								
0千円		0.00人	②平成31年3月22日完了	H30年度目標	H30実績	H30目標値が未達成の理由・分析									
期間	H30年度～R4年度	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③令和元年11月20日完了予定	R元年度目標	H30目標値が未達成の理由・分析		評価者	道路建設課長 加藤 孝雄	橋りょう築造を共同で進める埼玉県及び清瀬市と協議すると伴に調整を図り進めていく。					
		0.56人	0.00人		100.0%	66.7%									
		4,693千円	0.00人		100.0%										
河川課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	市民団体との協働による事業であるが、市でも清掃活動等に積極的に参加しており、その成果が出ている。	H30年度に改善した点		有	無	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	200千円	200千円	活動団体数	活動団体数	地域に根付いた親しみのある多自然型の川づくりへの要望があることから、市との協働による多自然の川づくりを行う活動団体数を指標とする。				H30年度に改善した点				
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	特になし	200千円	200千円	2	2	H30目標値が未達成の理由・分析									
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	2団体	H30年度目標	H30実績	目標達成済				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	多自然の川づくりの整備を推進するため、市民団体等と協働し、市が指定した河川・水路の区域を対象として、ふるさとの川再生事業を行う。	0.50人			2	2	目標達成済								
4,243千円				R元年度目標		目標達成済									
期間	H22年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		2	目標達成済		評価者	河川課長 高橋 智史	活動団体数の増加を促進する広報や周知の徹底を図っていく。					
		0.65人			2										
		5,447千円													
河川課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	樹木の再利用により、成果指標の目標を達成している。	H30年度に改善した点		有	無	
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	東川遊歩道整備延長	東川遊歩道整備延長	「COOL JAPAN FOREST構想」における周辺環境整備の一環として、遊歩道整備を行うことが当該事業の目的となっていることから、東川遊歩道整備延長を指標とする。				H30年度に改善した点				
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	実績	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	河川法	8,000千円	7,903千円	195m	—	—	H30目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	195m	H30年度目標	H30実績	目標達成済				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	「COOL JAPAN FOREST構想」における周辺環境整備の一環として、東川沿いの桜を一層魅力的なものにするため、ウッドチップ敷きなどによる遊歩道整備を行うものである。また、東川沿いの桜並木(旭橋から柳瀬川合流点)についても、継続的な維持管理を行っていくものである。	0.00人			150m	195m	目標達成済								
0千円				R元年度目標		目標達成済									
期間	H30年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		150m	目標達成済		評価者	河川課長 高橋 智史	歩きやすい遊歩道を維持していくためのウッドチップの補充等が必要である。					
		0.65人			150m										
		5,447千円													
河川課	実施計画ランク	事業の種類別	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	H30年度に改善した点		有	無	
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	44,771千円	43,588千円	①維持管理(清掃)	要望・通報処理件数	要望・通報処理件数				H30年度に改善した点				
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②要望・通報件数	要望・通報処理件数	要望・通報処理件数									
	所沢市公共物管理条例	59,856千円	57,833千円	③改修・整備工事	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析								
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績	H30目標値が未達成の理由・分析				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	1、河川の氾濫による浸水被害等の防止を図るため、改修・整備を行う。 2、パトロールや市民等の要望により、清掃・除草および修繕等を行う。 3、地域に根付く川づくりを目指し、維持管理の一部を委託する。 4、「水辺のサポーター制度」事業の推進。	5.48人			250	286	H30目標値が未達成の理由・分析								
46,498千円				H30年度目標	H30実績	H30目標値が未達成の理由・分析									
期間	S25年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	①8,073m	250	331		評価者	河川課長 高橋 智史	木柵の護岸など施設の老朽化が進み、今後修繕の増加は免れない中で、効率的で効果的な取り組みが必要である。					
		4.70人		②331件											
		39,386千円		③107m											